

6月の職員オススメ本



「露の宿り」 高瀬 乃一／著 PHP研究所

母、富が女将を務める小料理屋「露くら」の一人娘、千代乃は、左官の勝三と駆け落ちをしたが裏切られ、出戻っていた。そんなある日、富から「露くら」を引き受ける気はないかと言われ、嫌、継がないと伝えた千代乃だったが……。

突然の母の死によって「露くら」を継ぐことになった千代乃が、一人前の女将を目指し奮闘する時代小説です。

「知識ゼロからの植物の不思議」

稲垣 栄洋／著 幻冬舎



意外と知らなかった植物の不思議がたくさん！

「植物は痛みを感じる？」「モミジは赤く、イチョウは黄色くなるのはなぜ？」「四つ葉のクローバーはどうしてできるの？」「スイカの縞模様に意味はあるの？」など知ってそうで知らなかった植物の疑問を短く、わかりやすく解説しています。

漢字すべてにふりがなが振ってあり、大人でも子どもでも楽しく学べる一冊になっています。知っていれば得をする知識がたくさんあるかも!?



「最果てキッチン」 高山 環／著 ポプラ社

レストラン開業目前で、妻を亡くした料理人・圭介。失意の中、圭介が見つけたのは、妻が遺した写真と鍵のかかった箱。写真には、『宮崎』『探して』と書かれていた。箱を開ける鍵がどこかに隠されているのではないかと思い、圭介は写真の地・九州へ車中泊をしながら各地を巡っていく。その道中で様々な境遇の人達と出会い、苦悩を知った圭介は、彼らのために料理を振る舞うことで妻への思いや自身と向き合っていく、心温まる物語。